

# 視察報告書

平成 31 年 2 月 22 日

倉吉市議会 議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 大月 悦子 印



政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

## 記

- 1 視察期間 平成 31 年 2 月 18 日 (月)
- 2 視 察 先 鳥取県境港市議会

---

- 3 視察議員名 大月 悦子

---

- 4 面 会 者 境港市福祉保健部長寿社会課長 坂田卓宏、  
課長補佐兼包括支援センター所長 竹内真理子

---

- 5 視察目的 フレイル予防について (取り組み状況・PRや啓発活動)

---

## 6 視察の経過及び感想

### 研修内容

#### 1) フレイル予防事業を取組むきっかけは

①H29年 8 月 6 日に開催された講演を聞いて

「フレイル予防に地域でどう取り組むか？新知見を基盤としたまちづくり」

講師：飯島勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構教授

②H27年から始めている「いきいき 100 歳体操」の評価に苦慮していた

#### 2) 取り組みの実際

①H30年 5 月 上記機構の神谷哲朗研究員による講演

テーマ：フレイル予防とその実践

～フレイル予防による長寿のまちづくり～



- ②その後サポーター養成（市報で募集）一期19名 二期14名 今後も募集養成を続ける  
（今までの事業では男性の参加が少なかったが今回多くサポーターに一期4名募集）
- ③地域ケア会議のメンバーの協力体制の充実
- ④サポーターの資質向上のため和歌山県紀の川で実施しているサポーターとの交流会を実施
- ④感想（境港市）  
自身のチェックによる主体性が生まれている  
自分事化して取り組んでいる様子  
講演会には予想以上の参加者があり、関心度の高さがうかがえた。

3) 今後について

- ①今後もサポーターの養成を続ける
- ②現在中央で実施していたが、地域に出かける予定（自治会単位：ふれあいの家など）
- ③地域ケア会議の連携
- ④東京大学高齢社会総合研究機構との連携で継続
- ⑤フレイルトレーナー（専門職）との連携
- ⑥データの管理と評価について検討

4) 予算について

30年度は予備費で主に使用したのは  
講演料。 測定器の購入約23万円、チェック表など冊子（東大機構）サポーター用トレーナー等

5) 感想

今回一般質問に取り上げている事業について、大いに参考になりました。  
倉吉でもこの事業に取り組むことで、健康寿命の延伸につながり、地域づくりの一助になり、また医療費・介護保険料の削減につながることを実感しました。

7 添付書類

- ① 面談者の名刺 3枚

要した経費： 1 人合計 2,640 円